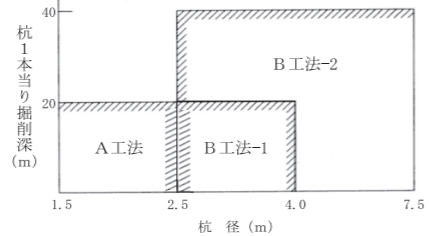
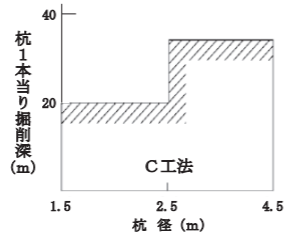
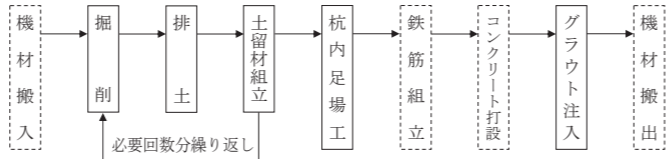
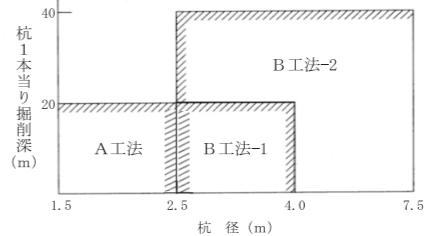
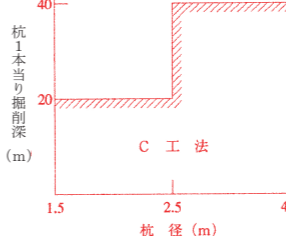
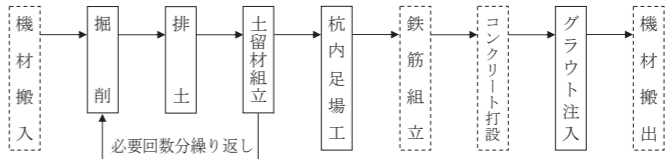


頁	項目	修正前	修正後												
II-3-③-1	③ 深礎工	<p>③ 深礎工</p> <p>③-1 深礎工</p> <p>1. 適用範囲 本資料は、人力及び人力併用機械掘削、機械排土、ライナープレート土留工法による図1-1、図1-2に示す範囲の深礎杭の施工に適用する。 なお、本資料での杭径とは、ライナープレートの公称径（ボルト穴間の径）とし、土質区分は、表1.1とする。</p>  <p>図1-1 適用杭径及び掘削深(標準)</p> <p>A工法：人力掘削，機械排土 B工法：人力併用機械掘削，機械排土 (B工法-1，B工法-2)</p>  <p>図1-2 適用杭径及び掘削深(掘削機が現場に搬入出来ない場合)</p> <p>C工法：人力掘削，やぐら装置排土</p> <p>表1.1 土質</p> <table border="1" data-bbox="890 1260 1484 1386"> <thead> <tr> <th>土質</th> <th>適用土質</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土</td> <td>砂及び砂質土，粘土及び粘性土，レキ及びレキ質土</td> </tr> <tr> <td>岩</td> <td>岩塊・玉石及びこれらが砂，砂質土，粘性土，レキ質土と混合した土，軟岩（Ⅰ），（Ⅱ），中硬岩・硬岩（Ⅰ）</td> </tr> </tbody> </table> <p>2. 施工概要 施工フローは、下記を標準とする。</p>  <p>図2-1 施工フロー</p> <p>II-3-③-1</p>	土質	適用土質	土	砂及び砂質土，粘土及び粘性土，レキ及びレキ質土	岩	岩塊・玉石及びこれらが砂，砂質土，粘性土，レキ質土と混合した土，軟岩（Ⅰ），（Ⅱ），中硬岩・硬岩（Ⅰ）	<p>③ 深礎工</p> <p>③-1 深礎工</p> <p>1. 適用範囲 本資料は、人力及び人力併用機械掘削、機械排土、ライナープレート土留工法による図1-1、図1-2に示す範囲の深礎杭の施工に適用する。 なお、本資料での杭径とは、ライナープレートの公称径（ボルト穴間の径）とし、土質区分は、表1.1とする。</p>  <p>図1-1 適用杭径及び掘削深(標準)</p> <p>A工法：人力掘削，機械排土 B工法：人力併用機械掘削，機械排土 (B工法-1，B工法-2)</p>  <p>図1-2 適用杭径及び掘削深(掘削機が現場に搬入出来ない場合)</p> <p>C工法：人力掘削，やぐら装置排土</p> <p>表1.1 土質</p> <table border="1" data-bbox="1988 1260 2582 1386"> <thead> <tr> <th>土質</th> <th>適用土質</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土</td> <td>砂及び砂質土，粘土及び粘性土，レキ及びレキ質土</td> </tr> <tr> <td>岩</td> <td>岩塊・玉石及びこれらが砂，砂質土，粘性土，レキ質土と混合した土，軟岩（Ⅰ），（Ⅱ），中硬岩・硬岩（Ⅰ）</td> </tr> </tbody> </table> <p>2. 施工概要 施工フローは、下記を標準とする。</p>  <p>図2-1 施工フロー</p> <p>II-3-③-1</p>	土質	適用土質	土	砂及び砂質土，粘土及び粘性土，レキ及びレキ質土	岩	岩塊・玉石及びこれらが砂，砂質土，粘性土，レキ質土と混合した土，軟岩（Ⅰ），（Ⅱ），中硬岩・硬岩（Ⅰ）
土質	適用土質														
土	砂及び砂質土，粘土及び粘性土，レキ及びレキ質土														
岩	岩塊・玉石及びこれらが砂，砂質土，粘性土，レキ質土と混合した土，軟岩（Ⅰ），（Ⅱ），中硬岩・硬岩（Ⅰ）														
土質	適用土質														
土	砂及び砂質土，粘土及び粘性土，レキ及びレキ質土														
岩	岩塊・玉石及びこれらが砂，砂質土，粘性土，レキ質土と混合した土，軟岩（Ⅰ），（Ⅱ），中硬岩・硬岩（Ⅰ）														